

熊本医療センター 化学療法レジメン登録票

BEV(5/D1,15)+IRIS(4週毎)

療法

診療科	外科
がん種	大腸癌
実施区分	外来可
適応分類	進行・再発がん 術後補助療法 ・ 術前補助療法 ・ 局所療法 ・ その他

1コース期間	28 日間
--------	-------

最大コース数(規定があれば)	コース
----------------	-----

催吐リスク	中等度
-------	-----

★1コースの抗がん剤投与スケジュール

薬剤名	(略号)	投与量	催吐リスク	Day						
				1	...	14	15	...	28	
ペバシズマブ	BEV	5 mg/kg	最小度	○			○			
イリノテカン	CPT-11	125 mg/m <sup>2</sup>	中等度	○			○			
TS-1	S-1	備考欄参照	軽度	○	...	○				

★備考欄

・TS-1 分2 14日間服用、14日間休薬

		減量
体表面積: 1.25m <sup>2</sup> 未満	80mg/day	休薬
1.25m <sup>2</sup> 以上1.5m <sup>2</sup> 未満	100mg/day	80mg/day→休薬
1.5m <sup>2</sup> 以上	120mg/day	100mg/day→80mg/day→休薬

・BEV: 初回は90分で投与。初回投与の忍容性が良好であれば、2回目の投与は60分間で行っても良い。2回目の投与においても忍容性が良好であれば、それ以降の投与は30分間投与とすることができる。

・UGT1A1遺伝子多型の確認が必要(ホモ接合型・ヘテロ接合型は慎重投与。初回より減量も考慮。)

・CPT-11のコリン様症状の予防に前投薬としてd-クロルフェニラミン酸塩5mgを投与

★備考欄

・CPT-11: 投与予定日の白血球数が3,000/mm<sup>3</sup>未満または血小板数が10万/mm<sup>3</sup>未満の場合には、本剤の投与を中止または延期すること。

・S-1: Ccr<30mL/minは原則投与不可。30<Ccr≤60では1段階以上の減量。(適正使用ガイドより)